

第3回企画委員会 議事録

日 時 令和7年11月4日（火）10:30～11:50

場 所 2号館5階 庁議室

出席者 委員5名

■兵庫県の万博における取組の検証について

事務局

- ・資料に沿って説明

委員等

- ・フィールドパビリオンのインスタのフォロワーが2.5万人という成果を得たことは成功といえる。他にも兵庫県ゾーンの映像等など、成功したと思う要因を今後どう活かすかが重要。
- ・フィールドパビリオンに関していえば、認定数を今後増やしていくべきかの議論も必要。まだこんなプログラムがあったのかとの声もあり、まだまだ認定数を増やしていく余地はある。
- ・SNS等の今後の活用方法をプレーヤーに共有することで、現場の声も変わってくる。

委員等

- ・来訪者が減った増えたなどの各論ばかりではなく、今後の方向性を見据えた上で、この事業をどう進めていくかを中心にするのを忘れてはいけない。

委員等

- ・フィールドパビリオンプレーヤーや県民にとって今後に活かせるような検証内容とするのも大事。
- ・委員会の議論の場でこういう部分が良ければという改善点があったと思うので、それらが改善されているかのチェックも重要。
- ・フィールドパビリオンの価値がどこにあったのかという視点も大事。来訪者の声などを通じて、見えてくれればよい。

委員等

- ・重要な視点は、そもそも何を目指していたか。万博ロスの方などをターゲットに、また万博を感じみてくださいといったような仕組みを今後取っていけるのではないか。
- ・プレーヤー目線で、鼓舞していく取組も大事。プレーヤーが大事にされてきたこと、どう変わったかなどの声も拾っていく必要がある。そういった意味では全県推進協議会の開催も重要だと思う。これを機に上手く仕掛けていく。

委員等

- ・成功した点として、どこにどのようなプレーヤーがいたのかというのを相互に知ることができたことがあげられる。ただ、自分のところに人を呼び込むというのは、任せた部分も感じられた。
- ・プレーヤーにとっては、来訪者の増加や、売り上げにつながらないと成果の実感を得られない面もある。
- ・うまく誘客ができた事例などを県で上手く整理し共有してはどうか。

委員等

- ・フィールドパビリオンに関していうと、まだまだネットワーク化は進んでいないと感じる。県内コンテンツの一覧表ができたことに大きな価値があり、それは万博がフックとなった。

委員等

- ・アンケートは実施しているが、よりよい形で今後活動してもらう体制も大事なので、専門的な知見をいかして、評価していくことも重要である。

委員等

- ・HP等の閲覧数を上げていくのも大切である。

委員等

- ・県民にとって、兵庫の未来のためにという理由で動く人もいれば、商品として経済が回らないと動かない人もいる。そういった多様な考え方の県民にとって、いかに活躍できる場面を用意できるかが大事。我々もそのような現状を知り、それぞれの専門的な知見を活かして、足らなければ他の専門家にもお願いするなどが必要。県民に対して、意義や志を伝え、机上の空論とならないような対策が必要である。

以上